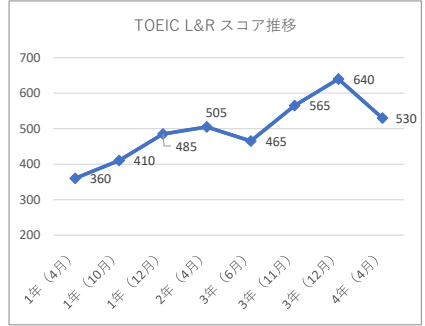


BE AMBITIOUS

～留学・語学力アップの軌跡～

学部学科	生命科学部・応用生物科学科	
学年	4年生	
氏名	N.T	
TGLランク	TGL BRONZE	
留学経験	短期	Diversity Voyage (フィリピン/9日間)
	短期	オーストラリア・メルボルン語学研修 (オーストラリア/3週間)
語学スコア	入学時	TOEIC L&R 360
	最高スコア	TOEIC L&R 640 (280点アップ)



(2022年2月現在)

学年	学期	留学	語学講座	語学スコア	学内イベント等	TGL	コメント
1年 (2018)	春	Diversity Voyage (フィリピン)	【Toyo Achieve English (TAE)】 2018年度前期 グループレッスン	TOEIC L&R 360 TOEIC L&R 395			海外に今まで行ったことがなかったので、 まずは9日間のDiversity Voyageに参加した。
	秋		【TAE】 2018年度後期 グループレッスン	TOEIC L&R 410 TOEIC L&R 485	TGLキャンプ (貿易ゲーム)		入学時のTOEICの点数が400点を超えず、ショックを受けて始めた英会話の成果がやっと点数に反映され始めた。
2年 (2019)	春		【TAE】 2019年度前期 グループレッスン	TOEIC L&R 505			【TAE】がきっかけで英語が好きになり、もっと学びたいと思ったので語学留学を考え始めた。
	秋	オーストラリア・メルボルン語学研修 (※) (オーストラリア)	【TAE】 2019年度後期 グループレッスン		TGLキャンプ (危機管理)		オーストラリア・メルボルン語学研修では、 英語を学ぶのはもちろん、様々な国の人たちと異文化交流が出来たので、いい経験になった。
3年 (2020)	春		【TAE】 2020年度前期 マンツーマンレッスン	TOEIC L&R 465			コロナ禍でペーパー版のTOEIC試験が受けられず、オンライン版を受験。納得のいく点数が取れず悔しい思いをした。
	秋		【TAE】 2020年度後期 グループレッスン	TOEIC L&R 565 TOEIC L&R 640			【TAE】で出される課題が増えて大変だったが、自然とTOEICの点数も伸びていき 目標の600点に到達した。
4年 (2021)	春		【TAE】 2021年度前期 マンツーマンレッスン	TOEIC L&R 530			資格取得や就職活動、卒業研究に取り組む毎日を送っていた。
	秋 ※現在※						卒業研究に取り組みつつも、時間に余裕が出てきたので英語学習を再開。更なる英語力向上を目指しているところ。

(※) 奨学金対象プログラム

入学時 (留学の目標)
英語も得意な理系の人間になりたいという思いが漠然とあったが、どうすれば良いか分からなかった。

留学を目指すきっかけ
社会に出る前に、大学4年間で専門知識以外にも語学を身につけたり、異文化交流をして様々な価値観に触れ刺激を受けたり、自分にとって糧になるような経験がしたいと思うようになった。

留学種別・留学先を決めた理由

- ・ **【Diversity Voyage】**
9日間で参加できるプログラムのため、海外に行ったことのなかった私でもハードルが低く、参加しやすいと思った。
- ・ **【オーストラリア・メルボルン語学研修】**
メルボルンは語学留学の行き先として評判も良く、治安が良いので安心だと思った。



語学勉強方法（効果のあった勉強方法、参加してよかった学内講座など）

- ・**Toyo Achieve English:** スピーチを聞いて要約したり、自分でもスピーチをしたりするので自然とリスニングやスピーキング能力が向上した。
- ・LEAP: 語学学校と同じように、授業が英語で行われるだけでなくディスカッションも多いので、練習になった。



失敗談（留学前にもっと準備しておけば良かったことなど）

- ・2年次の秋学期に受講していた【TAE】英会話レッスンは12月に終わってから3月の語学留学まで時間が空いてしまい、話す力が落ちてしまった。空いた期間に他のオンライン英会話などで、継続的に英語に触れる機会を作れば良かった。

長期休暇中の活動（夏休み、春休みなど）

アルバイトやサークル活動、ビーチバレーボール大会の運営やボランティアなど様々な経験をするようにしていた。

参加して良かった学内イベント

【TGLキャンプ】普段交流することがない他キャンパスの人たちと情報交換をしたり、交流を深めることができた。

コロナ禍での経験

- ・2年次の春季休暇期間にメルボルンへ語学留学に行く際、オーストラリアの水際対策により、いつ入国制限がかかってもおかしくない状況だった。そのため、留学に行けたことがとても嬉しく思う。

将来の進路

Diversity Voyage（フィリピン・セブ）に参加し、富栄養化した河川で村人が洗濯をする様子を目の当たりにしたことがきっかけとなり、3年次から水処理の研究をしている。卒業後は、その知識や経験が1番生かせそうな、海外の水処理プラントエンジニアリングに力を入れている企業に入社が決まっている。

後輩へのメッセージ

特に理系の学生に伝えたいのは研究開発や技術開発などの理系職にこそ英語は必要ということです。英語が苦手な理系学生が多いかと思いますが、専門知識にプラスアルファで語学力を身につけた人材は就活でも有利に働くとおもいます。今はコロナ禍で渡航が難しい状況ではありますが、チャンスがあれば留学にチャレンジしてほしいです。